

令和7年度事業報告及び公益目的支出計画実施報告書について

はじめに

令和7年度は、質の高い訪問看護、居宅介護支援等を実施するため、利用者及び介護者が満足のいくサービスの提供に努めました。

また、経営状況については、業務の効率化、人材確保等の取り組みを進め、安定した経営の確保に努めました。

主な実施状況は以下のとおりです。

1 主な事業の取り組み状況

(1) 訪問看護事業

- ① 小児から看取りまで、多様なニーズに沿った受け入れを進めた結果、13事業所中7事業所で機能強化型加算を取得しました。

	令和6年度末		令和7年度末
機能強化型Ⅰ	3事業所	⇒	4事業所
機能強化型Ⅱ	1事業所	⇒	3事業所

*機能強化型とは、24時間対応、ターミナルケアの実施、重症児や重症度の高い利用者の受入れ等を積極的に行う手厚い体制を評価するもの。看護職員の数、前年度のターミナルケア実施件数、重症児等の受入れ実績等の要件により、月の最初の訪問における訪問看護管理療養費（7,670円）が機能強化型Ⅰは13,230円、機能強化型Ⅱは10,030円を算定できる。

- ② 安定した業務量確保のため、事業団内事業所、地域の医療機関、居宅支援事業所等との連携強化を図り、新規利用者の獲得に努めました。
- ③ 訪問看護訪問回数は前年度比101.5%と増加しました。
- ④ 新型コロナウイルス感染症等への対策を図り、業務を実施しました。
- ⑤ 職員研修は、段階的な育成計画に沿って実施するとともに、新規採用職員には育成担当者による丁寧なサポート等による人材育成に努めました。

(2) 居宅介護支援事業

- ① より質の高いケアマネジメントを提供していくために、看護職を中心とした居宅介護支援事業所の特色を維持し、全事業所（9事業所）で報酬単価の高い特定事業所加算を取得するとともに、医療機関等との連携による取り組みを積極的に実施しました。

また、全事業所の特定事業所医療・介護連携加算の取得に向けて、末期の利用者に対するターミナルケアマネジメントに積極的に取り組みました。

	令和 6 年度末		令和 7 年度末
特定事業所加算Ⅰ	8 事業所	⇒	9 事業所
特定事業所加算Ⅱ	1 事業所	⇒	0 事業所
特定事業所医療・介護連携加算	9 事業所	⇒	8 事業所

※特定事業所加算Ⅰ、Ⅱとは、質の高いケアマネジメントを提供する事業所を評価するもの。常勤かつ専任の主任介護支援専門員及び介護支援専門員の配置数等の基準により、特定事業所加算Ⅰは 519 単位/月、Ⅱは 421 単位/月を算定できる。

※特定事業所医療・介護連携加算とは、医療機関等と総合的に連携する事業所を評価するもの。特定事業所加算Ⅰ、Ⅱのいずれかを取得し、退院・退所加算の算定に係る医療機関等との連携を年間 35 回以上行いかつ、ターミナルケアマネジメント加算を年間 15 回以上算定している事業所で、125 単位/月を算定できる。

- ② ケアプラン・予防ケアプラン作成件数は、前年度比 105.2%と増加しました。
- ③ 新型コロナウイルス感染症等への対策を図り、業務を実施しました。

(3) いきいき支援センター事業

- ① 身近な相談窓口機関として、認知症や介護予防、高齢者虐待等の相談に迅速かつ適切な対応ができるよう関係機関と連携し、支援を行うなど、地域包括ケアシステムの拠点としての役割を果たしました。
- ② 担当圏域の地域の現状を分析し、地域住民や関係機関と連携して、地域の課題解決に向けた取り組みを進めました。
- ③ 認知症の人やその家族を地域で支える取り組みとして、認知症家族支援事業等による地域支援を実施しました。
- ④ 地域で生活する高齢者が孤立状態に陥らないよう、見守り支援員が地域住民と連携し、相談支援を行うとともに、地域で見守るネットワークづくりに取り組みました。

(4) 公益目的支出計画に沿った公益事業

在宅療養のための基盤整備と保健・医療・福祉のサービスの水準向上に寄与する立場から、以下の公益事業を行いました。

- ① 特定寄附
- ② 在宅療養介護相談事業
市民に親しみやすい認知症カフェを 2 か所運営し、保健・介護相談や健康サロンなどの講座を実施しました。
- ③ 第 26 回在宅療養講演会
市民を対象に在宅療養等に関連する講演会を事業団設立 30 周年記念事業として開催しました。
- ④ 公益助成事業の実施

(5) 地域包括ケアシステム推進への対応

名古屋市・名古屋市医師会が運営する「名古屋市在宅医療・介護連携支援センター」を中心とした情報共有ツール（はち丸ネットワーク）へ積極的に参画し、多職種連携による地域包括ケアシステムの推進に取り組みました。

2 主な事業実績

(1) 訪問看護事業

① 健康保険法等に基づく訪問看護事業

ア 訪問回数	54,867回
イ 対象者数（月平均利用者数）	656人

② 介護保険法に基づく訪問看護事業

ア 訪問回数	97,691回
イ 対象者数（月平均利用者数）	1,155人

(2) 居宅介護支援事業

① ケアプラン・予防ケアプランの作成

ア ケアプラン	23,421件
イ 予防ケアプラン	17,335件
② 要介護認定調査の受託	6,086件
	668件

(3) いきいき支援センター事業

① 総合相談支援事業

相談延件数	38,617件
-------	---------

② 認知症の人を介護する家族支援事業

ア 家族教室参加延人数	232人
イ 家族サロン参加延人数	376人
ウ もの忘れ相談延件数	48件
エ 認知症サポーター養成講座回数	114回

③ 認知症地域推進体制づくり推進事業

初期集中支援実施延人数	486人
-------------	------

④ 要介護認定調査の受託	296件
--------------	------

(4) 公益目的支出計画に沿った公益事業

① 名古屋市及び愛知県看護協会に対する特定寄附

ア 名古屋市	1,000千円
イ 愛知県看護協会	4,000千円

② 在宅療養介護相談事業

ア まちかど保健室	
保健・介護相談延件数	2,406件
認知症カフェ利用者数	4,032人

イ	認知症カフェ中村公園	
	介護相談延件数	2,398件
	利用者数	6,458人

③ 第26回在宅療養講演会

ア テーマ 「母と二人三脚の介護録～認知症の母が劇的回復を遂げるまで～」

イ 講師 歌手 今 陽子さん

ウ 参加者数 428人

④ 公益助成事業の実施

令和7年度公益助成対象への助成 1件

令和8年度公益助成対象の選考 2件

(5) その他

① 主な実習施設としての実習受け入れ

ア 看護師養成施設等9か所 181人

イ 愛知県看護協会主催の訪問看護職員養成講習会等 24人

ウ 病院看護師の研修 16人

② 主な研修講師派遣

ア 新人訪問看護職員研修 愛知県看護研修センター

イ 訪問看護職員養成講習会 愛知県ナースセンター

ウ 名古屋市介護職員等キャリアアップ研修 名古屋市

公益目的支出計画実施報告書

1 令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）の概要 (単位：円)

1. 公益目的財産額	1, 826, 915, 746
2. 当該事業年度の公益目的収支差額（①+②-③）	478, 633, 419
①前事業年度末日の公益目的収支差額	440, 591, 062
②当該事業年度の公益目的支出の額	39, 226, 593
③当該事業年度の実施事業収入の額	1, 184, 236
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	1, 348, 282, 327
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由	

2 公益目的支出計画の状況 (単位：円)

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日		① 計画上の完了見込		令和46年3月31日	
	前事業年度		当事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	1, 826, 915, 746	1, 826, 915, 746	1, 826, 915, 746	1, 826, 915, 746	1, 826, 915, 746
公益目的収支差額	432, 000, 000	440, 591, 062	468, 000, 000	478, 633, 419	504, 000, 000
公益目的支出の額	36, 000, 000	41, 689, 285	36, 000, 000	39, 226, 593	36, 000, 000
実施事業収入の額	0	1, 011, 375	0	1, 184, 236	0
公益目的財産残額	1, 394, 915, 746	1, 386, 324, 684	1, 358, 915, 746	1, 348, 282, 327	1, 322, 915, 746